

第8回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社アーバンエックステクノロジーズ

<https://urbanx-tech.com/>

設立年月日： 2020年4月7日

所在地： 東京都渋谷区渋谷1-12-2 クロスオフィス渋谷706

代表者： 前田 紘弥（代表取締役）

従業員数： 一

業種： 社会インフラ分野、モビリティ分野、AI・情報技術分野

事業概要

都市インフラの課題解決という壮大なミッションに向かって、以下2つのサービスをご提供しています。

・RoadManager

「道路損傷による事故を未然に防ぎたい道路管理者」向けの「AIによる道路損傷検知サービス」です。スマートフォンを車に載せて走るだけで、事故につながる損傷を個人の判断によらず画像から自動で検知できます。また、検知した損傷はWEBダッシュボードで検索し、作業指示書を出力することができます。

・ドラレコ・ロードマネージャー

三井住友海上と協業で運営しているサービスです。大手小売や物流事業者等の車両に設置されている全国のドライブレコーダで収集した路面データを活用し、道路損傷検知を行うことができます。これにより自治体で巡回しなくとも道路損傷の検出を行うことができます。

審査評価

株式会社アーバンエックステクノロジーズは、「都市インフラをアップデートし、すべての人の生活を豊かに」をミッションに掲げ、「しなやかな都市インフラ管理を支えるデジタル基盤をつくる」ことを目指している。その第一歩としてスマートフォンや車載カメラなどのデバイスで撮影した動画や画像データを用いたAIによる道路損傷検知サービスを提供している。従来の専用測定車が通れないような生活道路においても、低コストで損傷具合に応じた路線評価を行うことが可能であり、インフラの老朽化による維持管理コスト増大や担当者不足への対応など、今後深刻になる問題への対応が期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第8回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社アルガルバイオ

<https://algalbio.co.jp/>

設立年月日: 2018年3月1日

所在地: 千葉県柏市柏の葉5-4-6東葛テクノプラザ301

代表者: 木村 周 (代表取締役社長CEO)

従業員数: 29名

業種: 製造分野、社会インフラ（モビリティ除く）分野
医療・健康分野、エネルギー分野、農業分野
AI・情報技術分野、その他の分野（ソフトウェア開発等含む）



事業概要

当社は世界的にも希少な藻類バイオファウンダリー（開発プラットフォーム）を構築。
用途や目的生産物に最適な藻類株（種）を当社保有の藻類株ライブラリーとそれに付随するデータからスクリーニングするとともに、育種改良や培養製法の最適化を通じて事業化・実用化に必要な“藻類技術パッケージ”をお客様へ提供する共同開発モデルを軸として業容拡大中。

審査評価

株式会社アルガルバイオは、世界的にも稀有であるマーケットイン型の「バイオファウンダリー型藻類開発プラットフォーム」を構築している点に独自性がある。保有する藻類ライブラリーと蓄積されたデータを活用し、最適な藻類の種株や培養製法などを、健康食品・化粧品等のレッドバイオ領域、食糧・飼料添加物等のグリーンバイオ領域、バイオエネルギー・バイオプラスチック等のホワイトバイオ領域といった様々な領域において企業に技術提供するB2B型のビジネスモデルを構築しており、藻類ビジネスを展開している多くの競合企業に対する優位性が期待される。
よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。



ARUM Inc.



アルム株式会社

<https://arumcode.com/>

設立年月日： 2007年8月

所在地： 石川県金沢市戸水1丁目61番地

代表者： 平山 京幸（代表取締役CEO&COO）

従業員数： 23名

業種： AI・情報技術分野

事業概要

多品種少ロット生産の切削部品加工業において製造原価の50%を占める加工プログラム作成作業を完全自動化するAIソフトウェア「ARUMCODE」を開発。
これにより、熟練技術者が経験と勘に基づいて多大な労力をかけて作成していた工作機械の加工プログラムを、3D CADデータを読み込ませるだけで完全自動生成することが可能となり、深刻な人手不足とデジタル化の遅れに直面する製造業において圧倒的な生産性向上の実現に貢献していく。

審査評価

アルム株式会社は、製造業における部品加工業者を対象に、CADデータからNC工作機械のプログラミングを完全自動化するAIソフトウェア「ARUMCODE1」を開発した。熟練者を必要とせず、加工部品に最適な工具の選定、加工条件設定、材料・工具のセット指示などを自動生成する。部品加工において50%を占めるといわれるプログラミング作業が不要となる。製造業における中小企業において、生産性の大幅な向上に寄与する。特に、多品種少量生産に効果がある。クラウドサービス化することによって、欧州・アジアなどグローバル展開の加速も期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第8回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社イムノセンス

<http://immunosens.com/>

設立年月日： 2018年1月25日

所在地： 大阪府大阪市中央区備後町4-1-3

代表者： 杉原 宏和（代表取締役社長）

従業員数： 14名

業種： 医療・健康分野



事業概要

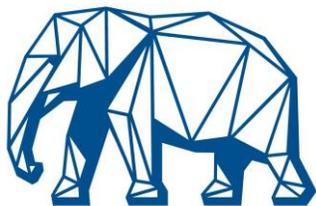
免疫反応を定量化する電気化学測定技術を用いた、小型・安価・高精度なPOCT診断デバイスの開発

POCT（Point of Care Testing）；
様々な医療現場（診療所、在宅、災害現場、僻地等）で行うリアルタイム検査。

審査評価

株式会社イムノセンスは、各疾病に特有のマーカーを免疫反応と電気化学反応で精密に定量化できる独自の小型免疫測定デバイスを開発した。小型で持ち運びが可能であり、少ない検体量に対して10分で簡便な検査を実現できるため、迅速診断ニーズが強い心疾患や塞栓症などの循環器系疾患などに対して、緊急性の高い検査を実施できる。コロナ禍において簡便で迅速な感染症検査の必要性が高まり、今後は早期診断や早期治療が有効とされる様々な医療現場においてPOCT（point of care testing）の活用による医療の効率化や質の向上が期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第8回JEITAベンチャー賞 受賞企業



Elephantech

エレファンテック株式会社

<https://www.elephantech.co.jp/>

設立年月日： 2014年1月

所在地： 東京都中央区八丁堀4-3-8

代表者： 清水 信哉（代表取締役社長兼CTO）

従業員数： 84名

業種： 製造分野



事業概要

エレファンテック株式会社は、「新しいものづくりの力で持続可能な世界を作る」というミッションを掲げ、の販売を計画しています。また電子回路基板に留まらず、金属インク環境に優しい金属インクジェット印刷による電子回路基板の量産化に人類で初めて成功した日本の製造業スタートアップ企業です。

既存製法（サブトラクティブ法）と比較してCO2排出量 77%削減、水使用量 95%削減を実現しています。既に 2020 年に量産化に成功しており、複数の採用実績がございます。今後は当社製法を Global でデファクトスタンダードにすべく、国内のみならず海外への展開や印刷装置ジェット技術の応用として他領域への展開も検討しています。

審査評価

エレファンテック株式会社は、環境負荷の少ない金属インクジェット印刷による独自の方法で、低コストでリードタイムの削減が可能な電子回路基板 P-Flex®の製造販売を行っている。既に国内に国際認証規格ISO9001（品質マネジメントシステム）、ISO14001（環境マネジメントシステム）に準拠した量産体制を実現し、顧客向量産品の提供も始まっている。また、持続可能な社会の実現に向けて積極的に環境負荷低減の情報開示も進めており、欧米メーカーからも多数の引合いを得ている他、今後印刷装置販売も計画される等、更なる事業拡大が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第8回JEITAベンチャー賞 受賞企業



Early edge賞(特別賞)



株式会社Acompany

<https://acompany.tech/>

設立年月日： 2018年6月20日

所在地： 愛知県名古屋市西区那古野2-14-1 なごのキャンパス

代表者： 高橋 亮祐 (代表取締役CEO)

従業員数： 40名 (パート・アルバイト含む)

業種： 医療・健康分野、スマートハウス分野、物流・流通分野、金融分野、セキュリティー分野、AI・情報技術分野

事業概要

「プライバシー保護とデータ活用」の両立を実現するプラットフォーム「AutoPrivacy」の提供。

複数のプライバシーテックを組み合わせたデータ処理プロセスを構築することができる。

併せてコンサルティングサービスも提供。

プライバシーデータの取り扱いにおける法律対応を中心に伴走支援。

審査評価

株式会社Acompanyは、秘密計算による「プライバシー保護とデータ活用」の両立を実現するプラットフォーム「AutoPrivacy」の提供しこれをコア事業として展開し、複数のプライバシーテック（秘密計算、k匿名化、連合学習、合成データ、差分プライバシーなど）を組み合わせたデータ処理プロセスを構築可能とする技術を提供している。企業サービスの個別化と消費者のプライバシー保護とを両立するソリューションとしてのプライバシーテックに関して、実証実験・共同研究の実績を有する数少ない企業として、拡大する市場とともに成長することが期待される。よって、Early edge賞（特別賞）に相応しい企業と判断した。